



第91期(2014年3月期) 第2四半期決算説明会

2013年11月15日(金)
新電元工業株式会社

決算説明

取締役 兼 上席執行役員
荒幡 義光

連結業績推移

単位: 億円 (億円未満切捨て)

	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度		
								上期	下期 (予想)	通期 (予想)
売上高	1,020	1,008	852	779	873	825	884	505	552	1,058
営業損益	60	22	▲40	55	73	50	33	59	50	110
経常損益	51	▲20	▲65	48	60	36	33	63	39	103
当期純損益	26	▲26	▲132	▲4	45	15	40	53	21	75

■ 第2四半期連結業績

単位：億円（億円未満切捨て）

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	対前年同期 増減	対前年同期 増減比
売 上 高	407	505	98	24.2%
営 業 利 益	2	59	57	2645.8%
経 常 損 益	▲ 7	63	71	—
四 半 期 純 損 益	▲ 9	53	62	—

- 半導体需要、自動車市場向けが堅調
- アジア二輪車市場、インドネシア好調・環境対応車の普及により増収
- 新エネルギー市場、太陽光発電向けパワーコンディショナの売上増加

■ セグメント別 第2四半期連結業績

単位: 億円 (億円未満切捨て)

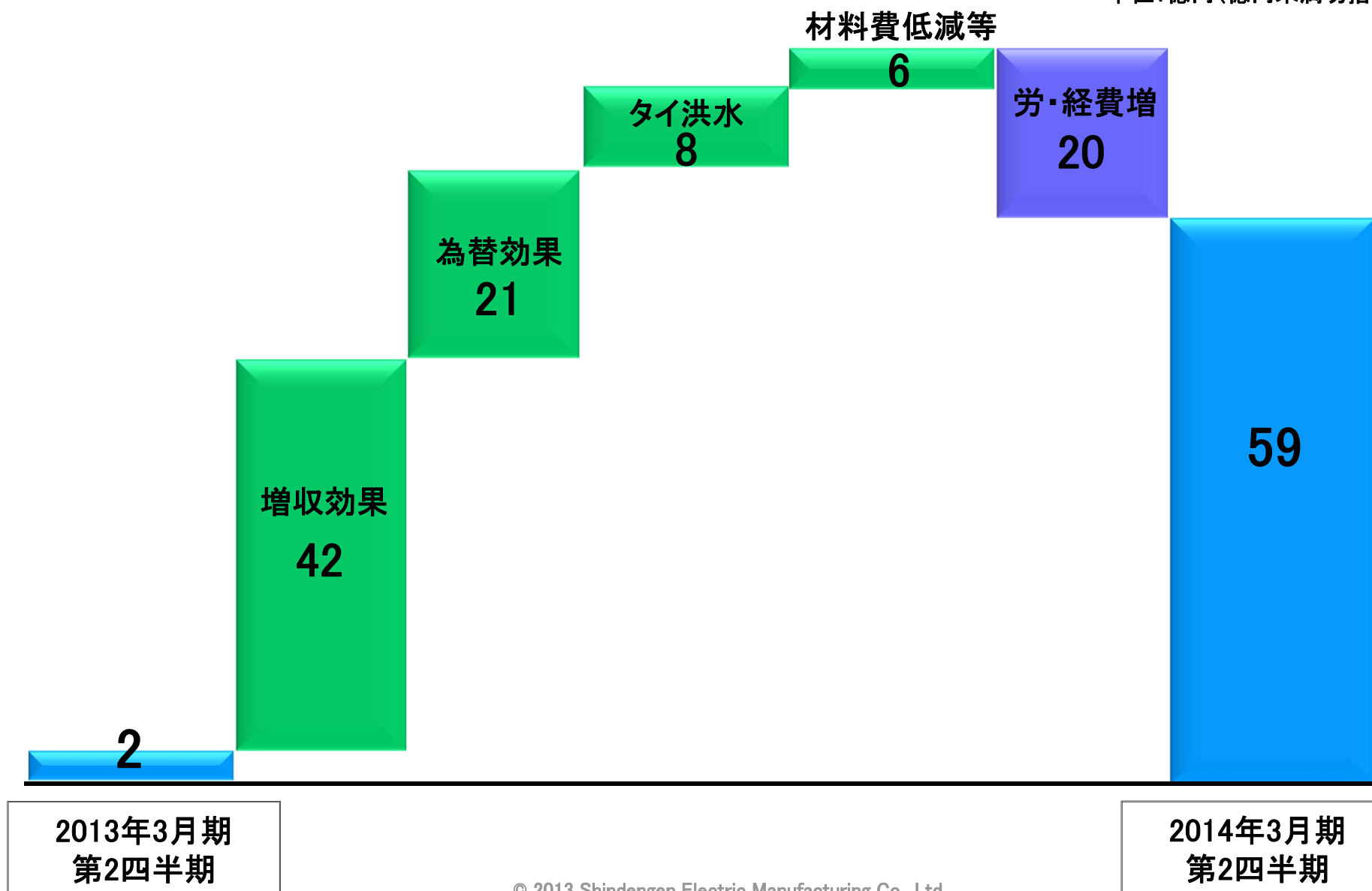
		2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	デバイス	164	177	13	8.0%
	電装	168	211	42	25.2%
	新エネルギー	78	123	45	57.4%
	その他	14	15	0	3.9%
	調整額	▲19	▲22	▲2	—
	合計	407	505	98	24.2%
営業損益	デバイス	14	20	6	46.6%
	電装	6	40	34	565.6%
	新エネルギー	▲5	11	16	—
	その他	0	0	0	106.2%
	調整額	▲12	▲13	0	—
	合計	2	59	57	2645.8%

※当期よりセグメント区分を変更しております。

前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

営業利益の増減

単位：億円（億円未満切捨て）



■ 経常損益・四半期純損益

単位：百万円(百万円未満切捨て)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減	増減比 (%)
営業利益	216	5,970	5,753	2645.8%
営業外収益	525	1,172	647	123.3%
(為替差益)	—	577	577	—
(持分法による投資利益)	118	138	19	16.7%
営業外費用	1520	813	▲ 706	▲12.3%
(為替差損)	647	—	▲ 647	—
経常損益	▲778	6,330	7,108	—
特別利益	—	447	447	—
特別損失	111	14	▲97	▲87.2%
四半期純損益	▲905	5,337	6,242	—

- 円安により、為替差益発生(前期は647百万円の差損)
- タイ洪水に伴う受取保険金を特別利益として計上

■ 純資産推移(連結)

単位: 百万円 (百万円未満切捨て)

科目		2013年3月期 第2四半期	2013年3月期	2014年3月期 第2四半期
純資産	資本金	17,823	17,823	17,823
	資本剰余金	9,009	9,009	7,738
	利益剰余金	7,737	12,652	17,541
	自己株式	▲113	▲114	▲116
	株主資本合計	34,457	39,371	42,986
	その他有価証券評価差額金	▲703	1,713	2,107
	為替換算調整勘定	▲2,229	▲1,338	▲262
	計	31,524	39,746	44,831
総資産合計		108,870	118,700	127,919
自己資本比率		29.0%	33.5%	35.0%

■ A種優先株式 全株式取得・消却

当期(2014年3月期)見通し

■ 連結業績見通し

単位：億円（億円未満切捨て）

	2013年3月期	2014年3月期				
		上期	下期	通期	対前期増減	対前期増減比
売上高	884	505	552	1,058	173	19.6%
営業利益	33	59	50	110	76	230.0%
経常利益	33	63	39	103	69	210.5%
当期純利益	40	53	21	75	34	87.0%

- 半導体需要、引続き自動車市場向け堅調に推移
- アジア二輪車市場、アジア通貨安懸念も需要は堅調
- パワーコンディショナ、競争激化も年度末に向け増加見込む

■ セグメント別 連結業績(見通し)

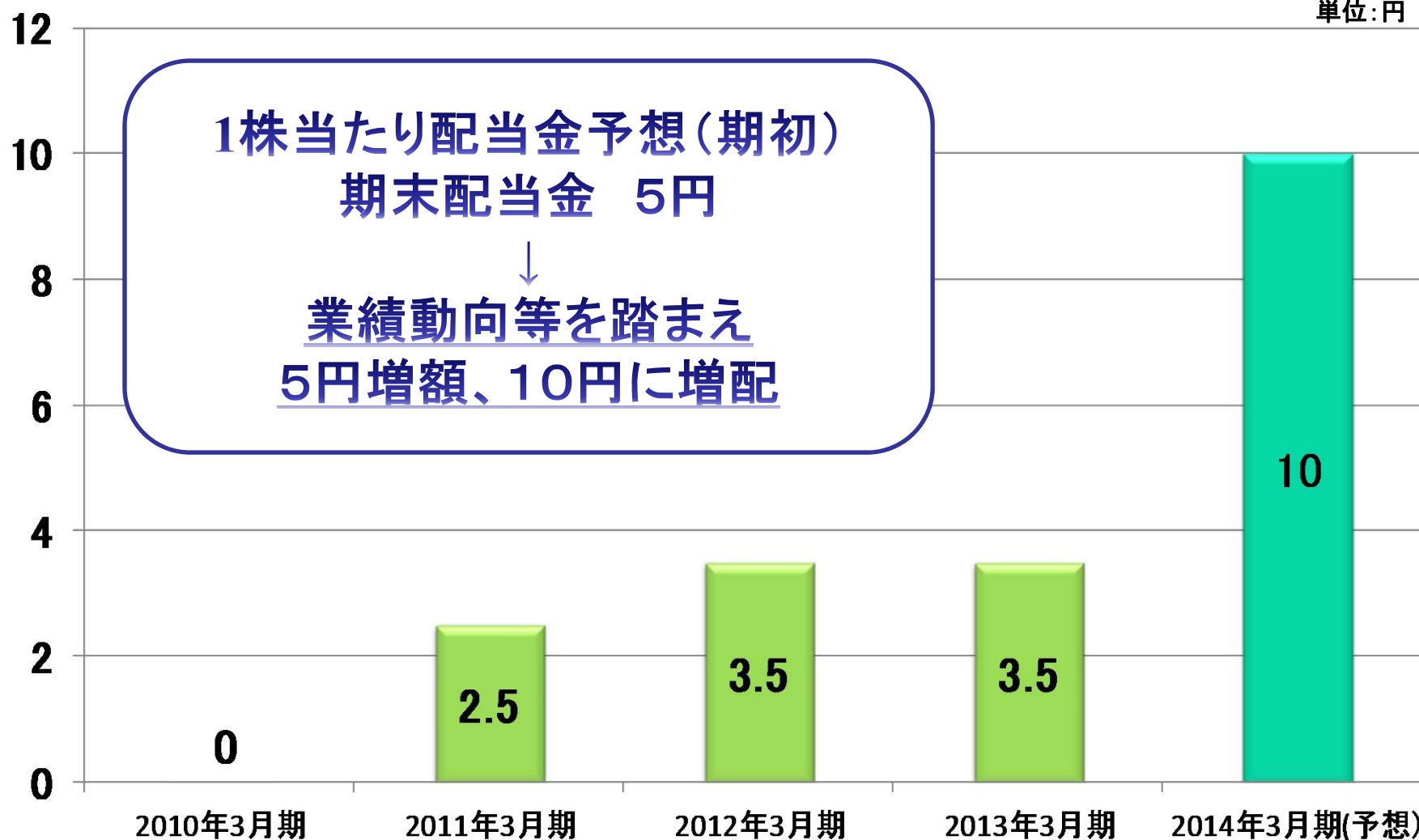
		2013年3月期	2014年3月期	増減	増減率
売上高	デバイス	334	365	30	9.1%
	電装	364	416	51	14.2%
	新エネルギー	199	289	89	45.1%
	その他	28	32	3	12.8%
	調整額	▲42	▲44	▲1	—
	合計	884	1,058	173	19.6%
営業利益	デバイス	27	36	8	32.6%
	電装	27	72	44	160.2%
	新エネルギー	4	29	24	609.9%
	その他	0	0	0	71.0%
	調整額	▲25	▲27	▲1	—
	合計	33	110	69	230.0%

※当期よりセグメント区分を変更しております。

前連結会計年度のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

■ 配当推移

単位：円





**「エネルギーの変換効率を
極限まで追求することにより、
人類と社会に貢献します。」**

2014年3月期の業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があります。